

作業の活動道具における視覚支援

ゆい作業委員長の二階堂です。ゆいで行っている作業の中でペットボトルを分別する作業があります。その作業も自立してできるよう利用者さん一人一人が理解しやすいような道具を使って作業を行って頂くよう工夫をしています。

上の写真の道具では利用者さんは文字とイラストを使用してどこに何を入れるかを示しています。また、材料の本数を固定することで終わりの見通しが持てるよう「材料は3本」という旨のことを書いてお知らせしています。



文字の理解が難しい方は写真、イラスト、見本を貼って提示している方もいらっしゃいます。下の写真のように左のカゴに材料を、右のカゴに見本用の剥がされたラベルを貼り、「この場所ではラベルはがし、剥がしたラベルを置きます」というようにお知らせしています。



このように、作業活動でも利用者さんが落ち着いて自立して活動するために強みや苦手なものを把握したうえで、ご本人に期待することが正しく伝わるよう工夫しながらツールを作成し、練習をして活動ができるようサポートをしています。